

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 私が「私」であるということ 春に	1	●言葉の中の春を読む。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、詩の中の語句や語彙に注目し、語感を磨き豊かにしている。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について理解し、詩の中の言葉の効果について評価している。	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評したり、考えたことを伝えたりしようとしている。
立ってくる春	3	●文章の種類を踏まえ、その展開の仕方に着目して、筆者の個性的な考えを捉える。	文章の種類とその特徴について整理し、理解を深めている。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方とその効果について評価している。	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評したり、考えたことを伝えたりしようとしている。
なぜ物語が必要なのか	3	●文章の種類と特徴について理解を深める。 ●知識や経験と結びつけて文章を読み、内容を評価する。	文章の種類とその特徴について整理し理解を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方や表現方法などを捉えている。	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評したり考えたことを伝えようとしている。
一言でまとめ一言から広げる	1	●言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考える。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、話の中で適切な言葉を使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面、言葉の意味に沿って話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	積極的に場の状況に応じて言葉を選び、他者の意見と自分の意見との共通点・相違点を踏まえ、学習課題にそって提案しようとしている。
私	5	●読書が自分と社会との関わりを支えている、ということを理解する。 ●文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 ●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。	本教材から考えたことやこれまでの自分の生き方や社会との関わり方を振り返り、読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れている登場人物のものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	粘り強く、文章の展開を捉えたり言葉の意味を文脈から理解したりするとともに、今までの学習を生かして考えた自己の読みの変容について説明しようとしている。
二 写真からは「美しく撮る」という明確な意志が感じられた 薔薇のボタン	2	●目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解しながら、読書の幅を広げている。	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、一般論と文章に表れている筆者のものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を友人と意見交流している。	積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習で得たことを踏まえ、新たな知見についてまとめようとしている。

令和3年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立葛西第三中学校

<p>構成を考えて主張をまとめる</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●社会生活の中から自分で課題を見つけ、主張をまとめる。 ●自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。 	<p>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、より効果的に伝わるよう話の構成を工夫している。</p>	<p>すすんで情報の信頼性の確かめ方を理解し、主張に至るまでの道筋に気づきながら学習の見通しをもって主張しようとしている。</p>
<p>メディア・リテラシーはなぜ必要か？ 新聞が伝える情報を考える</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●社説を比較して読み、内容の特徴を理解する。 	<p>情報の信頼性の判断方法を確かめ理解し使っている。</p>	<p>「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れている筆者のものの見方や考え方について考えている。「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、論じられている課題について、自分の意見をもっている。</p>	<p>積極的に文章の種類とその特徴について理解し、受け取る情報の解釈者の意図を捉えようとしている。</p>
<p>呉音・漢音・唐音</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の音の歴史についての理解を深める。 	<p>複数の音をもつ漢字の熟語を確認し、その熟語を使って文を作っている。</p>		<p>漢字辞典を使い音を確認し、その種類を分類しようとしている。</p>
<p>三 人工知能の進化によって、そのような「知性」親の見直しが迫られている AIは哲学できるか</p>	<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「哲学」など、筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ●事例や主張が適切かを考えながら読む。 ●文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。 	<p>意味を説明できない語句について調べ、本文での使い方を捉え、新しく学習した語句を使い表現しようとしている。</p>	<p>「読むこと」において、文章における主張と根拠の関係性や根拠の確かさについて理解し、文章に表れている筆者のものの見方や考え方について考えている。「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性をの高さ確認し、適切</p>	<p>筆者の主張や根拠の関係を捉え、それに対する自分の考えが伝わりやすくなるよう工夫し、学習課題にそって批評する文章を書こうとしている。</p>
<p>具体例をもとに説明文を書く</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●具体的な事例をもとに一般的な特徴を導く。 ●読み手に説明するために構成を工夫する。 	<p>語句の特徴を比較しながら捉え、日常で使う言葉に対する語感を磨いている。具体例の関係を考え、観点を決めて分類したりまとめたりしている。</p>	<p>「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように文章の構成や論理の展開などを考えて、文章の表現を工夫している。</p>	<p>積極的に文章の種類を選択し、発表のための資料の分析やその結果を踏まえて、構成や表現を工夫している。</p>
<p>熟字訓</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●熟字訓についての理解を深める。 	<p>日常で使用する熟字訓を踏まえて、意味に注意しながら文を作っている。</p>		<p>熟字訓について読みを確認し、意味を確かめている。</p>
<p>和語・漢語・外来語</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。 	<p>和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、それぞれの語感もつ印象について考えようとしている。</p>		<p>場面による和語、漢語、外来語の印象の違いを捉え、使い分けについて考えようとしている。</p>

令和3年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立葛西第三中学校

<p>四 このピアノは、自然が調律した元の形に戻ろうとしたのだ async</p>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 	<p>抽象的な概念を表す語句を具体的に捉え、筆者の主張とそれにつながる根拠の関係性を捉えようとしている。</p>	<p>「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について根拠に基づき、分かりやすさや適切さを判断し、自分の言葉で説明している。 「読むこと」において、複数の文章に表れているものの見方や考え方を捉え、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</p>	<p>課題にそった答えを見つけるために、繰り返し本文を読み、そこから考えたことを自分の言葉で相手に伝えるよう整理して話そうとしている。</p>
<p>問いかける言葉</p>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 	<p>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p>	<p>「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 「話すこと・聞くこと」において、目的にそって進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成</p>	<p>粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、学習課題にそって考えたことについて話ししようとしている。</p>
<p>説得力のある批評文を書く</p>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●資料を比較して、自分の考えを整理する。 ●伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。 	<p>対象から受け取れる情報を整理し、関連づけながら、説得力を増す方法について理解している。</p>	<p>「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、多角的な視野と明確な根拠をもち、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p>	<p>積極的に資料を集め、比較・関連づけの方法を理解し、学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。</p>
<p>相手に対する配慮と表現</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。 	<p>相手や場に応じた言葉づかいを理解し、その場にふさわしい形で適切に使っている。</p>		<p>相手や場に応じた言葉づかいを理解し、敬語を使った文章や会話において敬語使用の適否を考えようとしている。</p>
<p>ニュースで情報を編集する</p>	<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ニュースを構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●ニュースを構成する情報を、目的にそって効果的に使う。 	<p>メディアの違いを理解し、情報の検証方法について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、ニュースの編集者の立場として、情報の意図や重要性について理由をもって考えている。 「書くこと」において、映像と文字を関連づけ、共通点・相違点を整理し、情報どうしをつなぐ言葉を考えながらニュースを制作している。</p>	<p>積極的に文章の種類とその特徴について理解し、自身の生活を踏まえて、ニュースの形式にまとめようとしている。</p>
<p>実用文を読む</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。 	<p>文章の種類とその特徴について理解し、身の回りの実用的な文章の特徴を考えている。</p>	<p>「読むこと」において、文章の特徴を捉えて実用文の内容を正確に理解している。</p>	<p>目的に応じて必要な情報を収集し、実生活への生かし方を考えようとしている。</p>
<p>五 月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり 旅への思い</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。 	<p>情景や心情、表現などに注意して、読み方の工夫をしながら古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 芭蕉の句を正確に引用しながら、わかりやすい文章を書いている。</p>	<p>「読むこと」において、文章に表現されていない情景や心情を想像しながら、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。</p>	<p>言葉の歴史的な変遷を踏まえ、本文と句に記された情景や心情を自分なりに表現し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>

令和3年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立葛西第三中学校

和歌の調べ	3	<ul style="list-style-type: none"> ●古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。 	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通じて、和歌に込められた作者のものの見方や考え方について親しんでいる。長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	「読むこと」において、和歌の背景や表現の特徴について、資料を活用して自ら文章をまとめようとしている。	和歌を学ぶことを通じて、複数の項目を互に関連させながら、自分の意見を他者に伝えることができる。
風景と心情	3	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ●詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。 	歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、作者の思いを想像し、その世界に親しんでいる。	「読むこと」において、古典の文章の構成や対句構成を理解し、作者の主張を理解している。	現代日本語の用法と異なる言葉に注目し、自分の言葉で詩を訳そうとしている。
最後の一句	2	<ul style="list-style-type: none"> ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	自分の考えを広げたり深めたりすることとおして、読書する意義や効用について理解している。	「読むこと」において、場面ごとの登場人物の行動について自分の考えを比較して読んでいる。	本教材以外の文章を読み、今までの学習を生かして、表現を工夫して考えたことを伝えようとしている。
異字同訓	1	<ul style="list-style-type: none"> ●異字同訓についての理解を深める。 	いくつかの異字同訓を用いて文を作ることで、語感を磨き語彙を豊かにしている。		国語辞典を用いて、数多くの異字同訓について調べ文章の中で使おうとしている。
俳句の味わい	3	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉の意味を掘り起こして読む。 	教材の中から自分の好きな俳句を選び、それぞれの俳句の魅力や表現の工夫を踏まえて朗読している。	「読むこと」において、比較した俳句の構成、表現の工夫や効果について評価している。	俳句の魅力や価値を支えている言葉を指摘しようとしている。
初恋	2	<ul style="list-style-type: none"> ●表現上の工夫に注意して、暗唱する。 	この詩と現代との初恋の違いについて比較し、時代との関わりを理解している。	「読むこと」において、詩に表れている気持ちを理解し、表現上の特徴として文語定型詩であることを理解している。	文章の表現の意味や七五調のリズムの効果に注意し、内容を理解しようとしている。
故郷	6	<ul style="list-style-type: none"> ●理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ●一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ●「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。 	私の心情を効果的に表している表現を見つけることができる。	「読むこと」において、冒頭部と結末部の表現が作品全体に与えている効果について気づいている。「読むこと」において、作品上の「希望」と現実社会を生きる上での希望について自分なりの考えをもつことができる。	登場人物のものの見方や考え方を捉え、それをもとに自分のこれまでの考え方を変容させるきっかけとすることができる。

四字熟語	1	●四字熟語についての理解を深める。	四字熟語を使って二十～三十字の短文を作っている。		国語辞典で四字熟語の意味について確認しようとしている。
自己PR文を書く	2	●読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ●読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。	情報の内容を正しく理解し、文章構成の効果的な使い方について理解している。	「書くこと」において、文章の種類を理解し、助言を取り入れた文章に仕上げている。	自分に関する資料を集めて活用し、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように構成や表現を工夫しようとしている。
表現の工夫を評価してスピーチをする	2	●相手や場に適した言葉でスピーチをする。 ●場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。	自分の伝えたいことが相手にどのように受け止められるかを想像しながら、話の中に組み込んでいる。	「話すこと・聞くこと」において、どのように伝わるかを考え、スピーチの具体的な場面を想像しながらスピーチの形を考えている。	聞き手のことを想像しながら具体的なスピーチの場でも自分の改善点に気づこうとしている。
七 生命は、恒常的に見えて、いずれも一回性の現象である持続可能な未来を創るために	4	●持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。	命とは何かという抽象的な概念と様々な生物の見せる現象や生命現象とを結びつけ、具体的な事例を踏まえて自分の考えをもっている。	「話すこと・聞くこと」において、教材であげられている事象に対し、根拠となる体験を想起し、議論や討論を進めている。「書くこと」において、課題とした事象についての自分の意見や根拠を整理し、伝わりやすい文章になるよう表現の工夫を工夫している。「読むこと」において、教材を通して関心をもった事項に対して、他の資料から理解したことを踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ	教材における複数の課題の共通点・相違点を見いだし、課題に対して出された意見を整理しながら話し合いを進めている。
意見を共有しながら話し合う	2	●相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。 ●話し合いの進行の仕方を工夫して、合意形成を行う。	相手と自分の意見との重なりを具体的にし、話したり、共通点・相違点を整理して発言している。	「話すこと・聞くこと」において、合意形成ができるよう、目的に合わせて様々な立場や視点から話し合いを進めたり、新たな見方や考え方を導き出すよう発言したりしている。	話し合いの文例を読み、クラスの多くの人が納得できる結論について話している。
情報をまとめて作品集を作る	4	●自分の文章の収集と整理をする。 ●学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。	自分が決めたテーマに沿って情報を選び、作品集を仕上げている。	「書くこと」において、文章の種類を目的に沿って選択し、伝えていることに対して読み手が納得する論理展開や資料の引用を工夫し、自分の文章を考察している。 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの	作品の効果的な配列を検討し、読み手を意識しながら冊子づくりの工夫を凝らしている。

令和3年度 評価規準(例)

学校名:江戸川区立葛西第三中学校

パースデイ・ガール	2	●自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。	これまでの読書生活を振り返り、自分にとっての読書の意義や効用について説明することができる。	「読むこと」において、文章に対する考えをもち、その考えを他と交流することを通して、読書生活を広げている。	八つの段落に小見出しをつけ、各段落における語りの構造について説明することができる。
青春の歌	1	●自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。	本教材を読み、「青春」や「読書」との関係を考える機会としている。	「読むこと」において、筆者の考えやそれに対する友達の考えなどをもとに自分の考えをもっている。	文章の種類とその特徴について理解し、今までの短歌や評論についての学習を生かして批評しようとしている。
やわらかな想い	1	●自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。	詩の場面における人物の想いを具体的に想像し、その特徴を理解している。	「読むこと」において、この詩に描かれる「言葉」と「想い」との関係を理解し、良さについて自分の考えをもっている。	「言葉」と「想い」との関係について新しい捉え方をしようとしている。